まき

発行所
西蒲原郡
巻町中央公民館
編集人　北川郡司
印刷所　北澤印刷株式会社

巻町民の輿望を荷負って

河治新町長誕生

新生巻町の初代首長を決定する町長選挙は去る三十一日公示された。以来十日間四候補が入り乱れ街頭に個人演説に、立会演説と激しい舌戦を展開、九日巻小学校に於ける立会演説会を最後に静かに政戦の幕をとじ翌十日巻町一万五千有余の審判に付された。

町長選挙はさすがに投票率（八八、二一％）が示したように非常なる関心と注目の中に行われたが、初代町長に河治忠氏が当選された。記者は十二日、河治新町長を訪れ巻町政に対する抱負を聞いた。（北川）

――おめでとうございます。町長当選の感想はどうですか。

「たゞ感激で胸が一杯です。とにかく組織をもたない私にこのような輝やける栄冠を与えて下さつた巻町の方々に心から感謝するとともに私が常に申します愛と和、そして話合いによる納得のゆく政治をモットーに明るい巻町の建設に全力をそゝぎたいと思います。」

――明後十四日初登庁されるそうでありますが、町長として先ず解決しなければならない当面の問題について何か。

「そうですね、第一に助役、收入役、各課長等人事の問題を早急に解決したい。そして庁内の機構を一日も早く確立し町政の運営に万全を期さねばならぬ。次に予算でありますがこれも急がねばならない問題です。特にこの問題については一切の冗費をはぶいたすつきりとした予算を組みたい、そして遂次町財政の建直しをやらなければならない。」

――では次に町長がこれからやろうとする将来に対する抱負をおきかせ願いたい。

「前任者の輝ける業績を活かし、残された今後の問題を着実に実行してゆきたい。よく云われる感情的な対立はこゝで一掃し、政局の安定に全力をそゝぐ覚悟です。お互い誠意を以て話合えば通ずると思います。

合併による五ヶ年計画につきましては何んとか実現に努力する。しかしながら、この計画はあく迄も理想案でありますので、実情に即した多少の修正はあると思いますが、これに近いものゝ実現について強力に推進したい

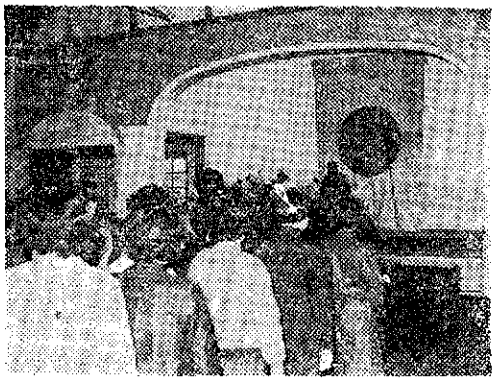
次に私事でありますが町政の執行に当つては一切の私心を捨てゝ厳正公平なる政治を行うことを固くお約束申したい。」

――この外町長さんがお考えのものでもありましたら

「ではこの機会に一言申させていたゞけるなら―特に合併による大巻町の執行の任に当る私にとりましては今後の四ヶ年がおそらく私の半生以上にも当ると思われ、責任の重大さをひし〳〵と感じさせられています。

折角皆様の御推挙により任につきましたから二万八千町民の御期待に添うよう努力致したいと思います。又町政執行に対し是非皆さんの忌憚のない御意見、希望などお聞かせ願われゝば幸いと存じております。最後に前途益々多難を予想される今日、私のこの立場を諒といたゞき一層の御協力をお願いいたしたい」

――大変お忙しい処お邪魔いたしました。折角の御健斗をお願いいたします。



巻町長選挙 開票結果

（昭和三十年二月十日）

当選五、四一九票　河治　忠

次点五、〇〇三票　高田弥雄司

二、八三二票　白崎　一二

二三一票　竹内長永知

有権者数一五、三七四

投票者数一三、五六一

有効投票数　一三、四八五

無効投票数　七七

投票率　八八、二一％

教育委員会

去る二十三日、二十五日の二日間に亘り教育委員会が巻町中央公民館に於て開催された正副委員長、議席、関係条例規則等の審議、公民館長、公民館運営審議会委員等を決定、

委員長　井上慶證（巻）
副委員長　上原金七（峰）
樋浦直衛（漆）
幸田久作（議）
斎藤牛男（角）
阿部嘉之助（浦）
長谷川義雄（松）

教育長　笠原　俊弐
各公民館長は
巻館長　斎藤　順作
漆山館長　梨本曾一朗
峯岡館長　樋口　弘雄
浦浜館長　山際太四郎
松野尾館長　近嵐伝一郎
角田館長　小川　英一
（写真は巻町成人式）

砂丘

▼今年は選挙の年といわれ衆議院議員選挙をはじめ各種地方選挙が四月までに行われ、選挙関係者は忙しい日が続くことである。▼汚職事件などあつての後政権がかわり総選挙が今月二十七日に行われるのであるが、政界の腐敗や不明朗選挙を嘆く声は次第に公明選挙運動となつて現われてこの運動が展開範囲をひろげつつあることは好ましい。▼しかし公明選挙運動をやらなくてはならない実状が存在することはわれ〳〵は恥しく思わないわけにはいかない。当選さえすればよいなどという考えで不誠実な政治をやるような頭の人物が当選したりするようであつては困るし、人物を看破する眼識、知識を我々は身につけるよう努めなければ政治はよくならない。▼いまの現状では公明選挙運動は極めて強力にくりひろげ、正しい投票が行われ、仮面をかぶつた人が政界に入るのを防がねばならない。情実や因縁、不正は人間の心の弱点につけこんで入り込みやすい。こうしたことは断乎として截去する勇気をもち信念をもつて立派な人を選ぶ努力が必要である。いまは最もよい時期であり、判断を誤つて千載に悔をのこすようなことのないようにしたい。我々の生活をよくするもわるくするも選挙の結果によることが多い。▼それには我々自身も政治に対する関心を深くもち、選挙の時のみでなく平生の間に勉強しておきたいと思う。お互いの磨き合いの機会や組織でもよい、生活改善運動の一環としての座談会のような小さな形の運動でもよい、お互にこうしたら世の中がよくなるのではないかと智恵を出し合うことは結構であるし、これらの行事が町内でも行われつゝあるときいているが期待されてよいことである。▼一個人一個人の脱皮はやがて大きな社会改造となり、希望にみちた変革が生まれるであろう。我々はこの世を浄土にしたい。公明選挙運動など理想論だと一笑に附して何事もせず脱皮の努力がなかつたら我々の幸せは長く訪れないであろう。（竹）

私はこう考える

「党か人か」
―衆議院選挙―

衆議院は去る二十四日に解散。来る二十七日総選挙が行われることになりました。

戦後選挙法の改正により婦人参政権が認められ同時に年令も二十才以上に幅が広められてより既に十年この間幾度となく選挙が行われて参り選挙に対する私達の関心や考え方もずい分変つて来たようであります。今月は衆議院選挙にそなえていろいろお考えを承りました。

衆議院選挙には
一、党を主に考える
二、党を全々考えないで人を考える
三、党を主にして人を考える
四、党も考えるが人を主に考える
五、まだ考えていない
六、わからない

御感想

本間昭一　竹野町
四、党も考えるが人を主に考える
感想　私達と共に郷土を愛し、共にうれえる人を真の代表者として選挙したい

幸田久作　赤さび
三、党を主として人を考える
感想　人を選ぶべきは当然でありますが、いかに個人で良い御考えや主義主張されても大勢の賛成がなければ個人の意志が通るものではないので、その意味に於いて党を主にして人を考えたのであります

岩崎正　松野尾
三、党を主にして人を考える
感想　政党政治の確立されていることを考え、国会議員は政党に主をおく、然し人物と言うものにも大きな眼をはらわなければならぬ

小林雄以　巻
三、党を主にして人を考える
感想　党政治の現在、人を選んだのでは、いかに良い人でも力がないと思う

田辺一彦　漆山
一、党を主に考える
感想　よく巷間に党より人を第一義的に考える人があるが政党政治である現今、まず党を考え第二義的に人を考える。勿論疑獄、汚職、スキャンダルの多い昨今、まず人であると言う意見も解らないこともないが（こんな人ばかりの政党でも結局同じことしか出来ないと考える）自分等の生活をみつめるとき明確に支持政党は決定され、その次に人の問題にうつりたいと思う

土田藤孫子　巻
三、党を主にして人を考える
感想　国会は政党政治に基盤を置くことは原則だが日本のいかなる政党にも一〇〇％の信をおくことは残念ながら現状では出来ないと考える

朝倉志津　越前浜
三、党を主にして人を考える

加藤弘明　巻
三、党を主にして人を考える
感想　議会政治を動かすのは政党であり、政党を動かすのが其の党人である。故に私は党を主にして人を考える

田中高次　峰岡
四、党も考えるが人を主に考える
感想　党の政策、候補者の政見等見究めずに選挙にのぞむものが多いと考える。もつと選挙に対する関心を高めなければ立派な人が出てこない

岩崎三男治　松野尾
四、党も考えるが人を主に考える
感想　地域の振興には何としても地域の代表が居らんでは全く事業が出来ない現況である今日、地域より代表人を送り出す必要がある

石塚まつ代　巻
四、党も考えるが人を主に考える
感想　みんなが自分達のこの一票で国会を浄化し日本の政治をよくする大切な選挙であることを自覚し候補者の行動、言論経歴など公正に判断し清き一票を投じたいと思います

大沢房　竹野町
三、党を主にして人を考える

富山靖之　馬堀
四、党も考えるが人を主に考える
感想　兎に角、本当に国民の為を思つてくれる人を国会に送りたい。ただそれだけ

相坂弘一　巻
三、党を主にして人を考える
感想　今回の選挙が行なわれるに当り。国会をふたたび国民の税金をいかに自分のふところに入れるかを考えて政治をする人達の集会所にしたくないと言うことと、我々青年だけでなくだれもが笑顔で仰ける国を造る人達によつて国会の開かれる事を望みます

吉崎正英　巻
四、党も考えるが人を主に考える

渡辺広　巻
四、党も考えるが人を主に考える
感想　民衆のために仇いてくれる真に実行力のある人を選びたい。ならべ立てた公約が口先ばかりの空念仏に終らないよう願いたいものです

笠原助二　漆山
三、党を主にして人を考える

上原勝次　竹野町
四、党も考えるが人を主に考える
感想　党の運用性も認めますが党を構成する人の質が向上せぬ限り、収賄、乱斗は後を絶たぬものと考えます

佐藤ムラ　漆山
三、党を主にして人を考える

新生巻町を表徴する
町章・音頭・小唄等
奮つて御応募下さい

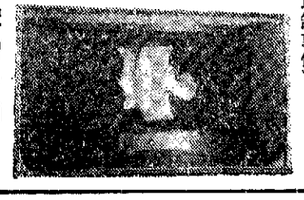
この度合併による新生巻町を表徴する町章、音頭、小唄を作る事になり広く一般より図案及び歌詞を募集いたします。左記を御留意の上優秀作品多数応募下さる様お願い致します

◎音頭、小唄は四百字詰原稿用紙使用の事
◎町章、官製はがき使用。色彩は二色以内いずれも〆切は二月二十五日。巻町役場商工観光課宛申込の事。発表二月二十八日役場前に掲示する。

賞金　音頭、小唄は、
一等　五〇〇〇円一点
二等　一〇〇〇円一点
三等　五〇〇円三点
町章は
一等　三〇〇〇円一点
二等　一〇〇〇円一点
三等　五〇〇円二点
審査員
新潟日報企画部長　平井仁八氏
ラジオ新潟編成部長　浅見信夫氏
巻町中央公民館長　斎藤順作氏
巻町長　河治忠氏
（応募作品は返却せず）

講習会開く
越前浜小で

PTA、婦人会共催で去る二十四日午後一時から小学校に於て新潟県少年鑑別所長相田誠一先生をお招きして講習会開く。演題は「人間の行動と精神医学」参加者は、婦人会とPTAの会員約百名。



入徳館PTA

二月八日
母親学級二月お勉強だより発送
二月九日
書初展並研究発表会
二月十六日
新入学児童移行学級（芸能発表会招待）
二月二十八日
新入児童移行学級（身体検査及テスト）
第四回県シネ、スライドコンクール出品作品「さかぶち物語」入賞トロフイ。（峰岡公民館製作）

茨の道越えて
逞しく生きる角田青年団

青年団運動は展開の課程に於いて考える青年を養成するところに価値があると思う。その爲の民主的な指導者を得るは目下の急務だと廿七年一月第一回角田村の青少年指導者講習会を開講、以後回を重ね本年も去る一月十二日より二泊三日越前浜西遊寺を会場として第四回青指講を開講。寝具持込で集い来る若人は男女併せて五十名北国特有の鉛色の空模様に似ず彼等の面上には清純な希望に輝やいていた。講師は亀山社会教育主事、新潟日報中沢、森田氏、浜松中鈴木氏、篠沢郡団長、外来補導員本間峰岡団長、女子として味方仲沢、岩室坂田両氏を仰ぎ適切な助言指導を得て盛況裡に閉講した。

内容は既応の講習会と何ら異る個所もないがロールプレイングは「公明選挙、講壇式、討論は社会教育をどう考えるか」新しい試みとして朝日式討論の「青年団は民主化されたか。踏襲的な回数増は停滞する。地域及青年の実態把握から開催期をどうするか。過ぐれば短かい講習だが若人の話らいは出稼せずにすむ村を夢見ているように思えた。角田村としてはサヨナラ講習であるが、講習に点じた希望の灯は新巻町の青年達にも繋つていることを思わずには居れぬ。

巻町中央公民館

去る二十二日午前十一時より巻町中央公民館運営審議会を巻公民館に於いて開催し審議会の正副委員長並びに中央公民館長について協議した。

委員長　笠原助二（漆山）副委員長　倉品千代（巻）中央公民館長に巻公民館長斎藤順作氏を推薦し散会した。

生花講習
松野尾婦人会

旧正月の三日、四日の二日間松野尾婦人会では松野尾小学校を会場に華道講習会を開く講師は小原流教授長谷川春葩（婦人会長）で出席者は会員約百名、先生。

○卓球大会
二月二十日午前十時より峰岡中学で支部対抗で行う。（浦浜チーム招待）

巻小子供会

一月三十一日全校協議会を開き次のことを決定いたしました。
㈠二月のくらしの目標
◎時間を正しくまもりましよう。
イ、ちこくをしないこと
ロ、学習時間と休けい時間の区別をつける
㈡学校内や地域において、チャンバラ遊びは絶対にしないこと
㈢校内ドッチボール大会について
十六日三年生、十七日四年生、十八日五年生、十九日六年生。学年内のリーグ戦で行う
◎二月運営予定
十七日学級奉仕委員会
二十二日　地域委員会
二十四日　全校協議会

強化はかる
漆山青年団

漆山青年団は青年団の現状に照らし本部役員中心主義は早晩行詰ることを認識し、こゝに新しい運営基本方針を左の通り決定した。
①漆山青年団の活動単位はグループとする
②団の形式的封建性を排除し個人の自由性を涵養し、まず団の基礎を確立する
③本団の事業は総合的な（例えば運動会、討論会、研究発表会等）ものゝみとし、その他はグループが之に当る
④現実の生活の中から問題を取上げてはつきりした目標をきめる
⑤グループ間の連絡は密にしこれらを含めて青年団体連絡協議会を形成する

巻婦人会

巻婦人会では昨年十二月全国的な門松廃止運動に参加、各官庁をはじめ町の方々の温い御協力によつて売上金一万五千六百八十八円となり、純益金の内から金一万三千円を一月末役場を通して助け合い運動に御寄附致しました。残り百八十八円は会の基金の方へ繰入れさせて頂きました。厚く御礼申上げます。

総会は来る十三日午前十時から小学校図書館で開かれます。多数御出席下さい。

漆山婦人会の寄附

漆山婦人会は去る十二月十八日映画鶴寛希望の会員の声により映画会を開催し当日の売上金より諸経費を差引いた残金一万四千五百四円を漆山小学校へ寄附しました。

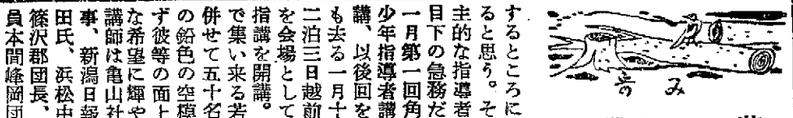
公明選挙座談会

公明選挙運動を推進するため二月九日十日啓蒙宣伝に青年団と共に私達婦人会も出動しましたが、つゞいて二月十二日漆山公民館で青年団と公民館合同共催の公明選挙座談会を催し活溌な意見の交換を行いました。

第五回婦人会総会は三月十三日漆山小学校で催す事に決定した。

峰岡婦人会

峰岡婦人会では来る十八日各字新旧合同理事会。二十五日には旧のみの理事会を開催する。



蛸船（タコブネ）

浦浜中学一年　阿部和代

目をさますとひつそりとした静かな漁村の朝だった。母が「風だよ」と兄さんを、大きな声で起こしています。ねぼすけな兄さんも、風となると、一つぺんにはね起きます。すぐ兄さんは浜へとんで行き、「まだ波が高いがなあ」と云つて引きかえして来て、出船の身支度にかゝりました。おばあさんは出船の時にはいつも浜に出かけ、荒い冬波の岸を船が沖へ漕ぎ出るまでじつとみつめています。きつと心配なのであろう。今日も私は、おばあさんの後について蛸船の出船が無事であるように祈りながら、佐渡の雪の山が見える浜におりて行つた。蛸船は村で四つ出る。兄さんの乗つている船はその中の一つだ。三つの船はいくつかの波を越して沖にすべり出た。落ちついていた兄さんの船がこんど波とたゝかうのである。高い波がくだけて白い泡をとばしている。流れも早いし、水が冷めたい。砂から水におりた船が右に左に、苦労してやつと波の難所を きりぬけて沖に出た。なんだか兄さんを頼られるような気がして、胸の中がすーつとした。

船はこれから場所について、四、五時間蛸籠をくる作業をするのだ。冷たい海に汗をながし、手にマメをつくりながら。……

波の上の今日の作業が終つた。帰り船の帆が見えて来る。岸についた。兄さんは元気がない。今日は不漁だつたなあとすぐわかる。

漁のあつた時は、それはそれは、なんとなく船中の気分がにぎやかなので大漁か不漁かがすぐわかるのです。おばあさんは今日もやさしくなぐさめています。

「浜一番の時もあるし、なんもない時もあるしなあ、心配するんなや。……」

「良い時もあるさ。」と、……私はやつぱり「大人になつても人にまけるとおもしろくないのだな。」と心の中でこつそり思つた。

＊　＊　＊

輝しい社会人としての門出

＝成人式も合併して行わる＝

合併による第一回の試みとして注目された成人式を去る十五日午前十一時より巻小学校に於て開催する。

この日式典は巻町教育長の式辞に始まり富山靖之君（漆）の「自律の責任と義務をもつ民主社会人にならんことを固く誓う」の力強い宣誓があり多数来賓の温い激励と将来を期するの祝辞に居並ぶ三百のほほは次第に紅潮――緊張した空気の中に大沢ヨシ江（峯）の「皆様の誠意ある祝福を胸に良き社会人として正しく生きぬかん」の答辞によつて式典を終了した。記念撮影、映画鑑賞等成人の日を有意義に過した。

宣誓

我々は今日成人の日を迎え、両親、社会の皆様に深く感謝すると共に成人であることを自覚し、自律の責任と義務をもつ民主社会人にならんことを茲に固く誓います。

昭和三十年一月十五日

成人者代表　富山　靖之

答辞

新しい年、一九五五年、新しい光に満ちた太陽が山の青、海の青に照り映えるこの年の始め、希望に胸躍らせながら実社会への第一歩をふみ出す私達成人者のためにかくも盛大なる式典を挙行して下さいました公民館始め関係者の方々に厚く厚く御礼申上げます。

今日一月十五日こそ私達にとつて最も意義深い日であり、そして新生巻町第一回目の成人者として祝福をうける喜びと感激で胸せまる思いでございます。

地方選挙、総避挙さらには経済自立、再軍備問題と幾多の問題山積のこの年に成人となり社会の一員としてこゝに選挙権の与えられましたことは私達の最も誇りとするものでございます。

終戦後早くも十年を迎えました。省みれば戦争の過度期に育てられた私達の過去は実に暗黒と苦痛の連続でありました。物はなく、身も心もすさみ日々新聞紙上を賑わす社会問題等いろ〳〵考えさせられるものがございます。

私達は常に冷静に時代と与論に対し正しい批判をもつて間近に迫る選挙に臨みたいと思います。私達は清き悔なき一票を正しい信頼出来る人に投じ一日も早く私達一人一人の生活が安定し明るい平和な文化国家が建設されるよう努力いたしたいと思います。

私達は今日からいや今からお互に手と手をとつて皆様の誠意ある祝福の言葉を胸に強く抱きながら良き社会の一員として常に明るく希望と若さと情熱をもつて正しい目的に向つて邁進することを誓います。

一言もつて答辞といたします。

昭和三十年一月十五日

成人者　大沢ヨシ江

移りかわる

歳の市

毎月五、十の日になると巻町の大通りに賑かな「市」がたつ。所謂六斉市の一つである。

物々交換の名残りをとどめて、近郊の農婦達が季節の青物や藁束、松葉などをかついで来て、買物をして帰る。

「市」そのものがもつ庶民性と香具師、投売りなどショー的な魅力に添えて、気軽に品定め出来る俗にいう、よりどりみどりの魅力は普通の店舗にはない良さをもつている。「歳の市」は旧正月をあてこんで一月三十日にたつ。

「歳の市」とは云え、最近は「市」のもつ民俗的な色彩がだん〳〵さびれてゆく。僅か黒埼あたりから来るキナコ売りの農婦と、正月飾りのメ縄にも余り人気を呼ばないのも時代の流れともいえよう

尚、藁工品として莚、簑などが河井、馬堀方面から歳の市にもちこまれたのであるが、土間が板張やコンクリートとなつた農家ではこれも年々さびれてゆくもの〻一つである。

けれども、拡声機など使つて客を呼ぶ雑音の中を縫うようにして流れてゆく人々の足どり、あわたゞしい歳の暮れは昔と変らない。

（テゴを背負つて買出しに来た農婦）

(2)

俳句

河井佐藤藤夫

月光を浴びて障子に虫の声
水面に揺らぐ月陰そつと汲み
積雪の目標こゝに指してあり
童等の野火の煙りに幼きを覚ゆ
陽に光る鎌に念入る秋心

火災、泥棒の電話のかけ方は

巻電報電話局では昨年十二月開局以来、皆さんが電話をおかけの際すべて相手方の電話番号によらねばならないように改めたが「火事」の発生又は「泥棒」の侵入等一刻も早く消防、警察等に連絡する通話は特に次によられるよう希望されている。

○火事の場合
「かじ」

○泥棒の場合
「どろぼう」又は「けいさつ」

なお火事、夜間停電の場合はほとんどの電話加入者が一斉に呼んでくるそうであるが、交換取扱者は一人で百五六十の電話を受持つているので緊急を要する重要通話は接続が出来ないので問合せは遠慮してほしいとのことであります。

巻中生徒会

二月一日校内卓球大会。二日部長会議。三日ホームルーム委員会。四日分団長会議。八日全校協議会。十八日弁論大会。二十一日珠算大会を開催する。

弔

長谷川政一氏（四七）楼林　一月三日
田中ミヨノ氏（七九）峯岡　一月四日
斎藤アサイ氏（三二）五ヶ浜　一月十一日
中村　貞蔵氏（五三）巻十区　一月十五日
乙川　ツヤ氏（七二）四ッ郷屋　一月廿三日
小川与五郎氏（七〇）越前浜　一月二十四日
斎藤友太郎氏（六九）越前浜　一月二十四日
長谷川三五良氏（四二）十二原　一月二十六日
竹田菊太郎氏（七二）高畑　一月二十六日
中野文次郎氏（八一）巻五区　一月二十七日
保川　ツル氏（七〇）巻五区　一月二十七日
漆山　一月二十七日
吉田　九蔵氏（七〇）巻十二区　一月廿九日
河治　チカ氏（八五）巻五区　一月二十八日
石山　ミサ氏（六四）巻一区　一月二十九日
内藤　トイ氏（七〇）巻九区　一月三十日
雨木　ヤス氏（五六）巻一区　一月三十日

原稿募集
町民の声
短歌・俳句・小品・文・詩
そいづれも原稿用紙使用のこと
宛先　公民館弘報部